

令和８年度 市長との対話集会（今富地区） 議事要旨

日 時：令和８年８月２２日（土）１７時００分～１８時１０分

場 所：今富コミュニティセンター

参加者：２１名

テーマ：「サバ缶、宇宙へ行く」のその先へ ～小浜の挑戦から考える学びとブランドづくり～

１ 参加者からの主な意見

（１）地域資源の活用と観光拠点化

- ・今富地区独自の大きな祭りや、イメージキャラクター（一輪車やお米、サバに関連したもの）があると良い。
- ・特産品をテーマにした「サバパーク」や、サバ料理専門店、キッチンスタジオなど体験型施設の整備。

（２）探求学習の成果発表とイベント化

- ・中高生の探求学習で生まれたアイデア（サバ缶の食べ比べ、郷土料理の提供など）を活かし、新幹線の新駅周辺で学生主体のイベントや物産展を開催。

（３）空き家の多様な活用

- ・問題となっている空き家を安価な宿泊施設（カプセルホテル）や、若者が集えるカフェや漫画喫茶、カラオケなどの複合的な拠点として活用。

（４）新幹線新駅のインフラ整備

- ・駅からの二次交通としてロードバイクやロータリーの整備、また次世代に対応した交通インフラ。

（５）生活利便性と移住促進

- ・大型商業施設や医療モールの誘致、多世代が交流でき防災機能も備えた複合施設の整備。これにより、ベッドタウンとして選ばれるまちになる。

（６）新幹線を活用した物流と観光

- ・新幹線を利用して朝採れの鮮魚や野菜などを東京へ直送する「物流活用」や東京発の「お座敷新幹線」を運行させることで交流人口の拡大を図る。

２ 市長からの主な回答

（１）住民主体のまちづくりと教育

- ・子どもたちが自ら祭りや文化を創出しようとする姿勢は大変嬉しい。各地区のイメージキャラクターの作成など、地域の魅力を主体的に発信する取組みに期待したい。

（２）探求活動の事業化・イベント化

- ・中高生の探求学習から生まれたアイデアは非常に実践的であるため、実際にイベントとして発表・実践できる場があると非常に面白い。

(3) 空き家の多様な活用

- ・空き家を単なる宿泊だけでなく、娯楽や飲食を含めて活用する案は面白く、今後の空き家対策・まちづくりのなかで参考にしていきたい。

(4) 新幹線新駅周辺の複合施設

- ・新駅周辺に商業施設やホテルのほか、スポーツや音楽イベント、物産展などに多目的に活用できるアリーナ型複合施設の整備は小浜を目的地としてもらううえで効果的である。
- ・京都や大阪からの好アクセスを活かした集客拠点になる可能性がある。

(5) 新幹線を活用した「稼ぐまちづくり」

- ・新幹線は人だけではなく、農水産物などの迅速な輸送手段（物流）としても活用できる。そうすることで外部資本を獲得でき、また、現地でしか食べられない物は現地に來てもらうことで、どんどん「稼げるまち」になっていく。